

○ 発行額の減額(4,620億円 → 4,070億円)

- ・ 第23回大阪府財務マネジメント委員会で示した大阪府債発行計画(案)において、臨時財政対策債(※)に係る大阪府への公的資金の配分額は未確定であったため、配分額を±αとし、確定後フレックス枠で調整することとした。
- ・ その後、公的資金が約105億円配分されたことや、事業費の確定による資金需要の減少、収支改善による発行抑制等を行った結果としてフレックス枠での発行額は250億円となった。

(※) 地方一般財源の不足に対処するため、投資的経費以外の経費にも充てられる地方財政法5条の特例として発行される地方債

< 第23回大阪府財務マネジメント委員会(令和6年2月5日)時点 >

(単位:億円)

			4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期計	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下半期計	合計	
市場公募債	10年		100	100	100	100	100	100	600	100	100	100	100	100	100	600	3,800±α	
	5年		100	100	100	100	100	100	600	100	100	100	100	100	100	600		
銀行等引受債	証券	5年	100						100	100						100		
	証券		200						200	200						200		
フレックス枠			800±α															
共同発行債	10年		820															820
合計																		4,620±α



< 最終見込み >

(単位:億円)

			4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期計	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下半期計	合計	
市場公募債	10年		100	100	100	100	100	100	600	100	100	100	100	100	100	600	3,000	
	5年		100	100	100	100	100	100	600	100	100	100	100	100	100	600		
銀行等引受債	証券	5年			100				100			100				100		
	証券				200				200			200				200		
フレックス枠								200	200			50			50	250		
共同発行債	10年		100	100			100	100	400	100	120		100	100		420		820
合計																		4,070